学習院大学新聞

発行所
学習院大学新聞社
〒171-8588東京都豊島区目白1丁目5番1号
電話(3986)0221内線2607
http://www.gakushuin.ac.jp/press
press@gakushuin.ac.jp
発行・編集人　増村篤紀
年間300円

7割強が「投票に行く」

本紙アンケート調査

根強い政党不信は健在

本紙では、六月二十五日（日）に実施される衆議院総選挙を前に五月二十九日から六月三日の六日間、「本学生の選挙に対する意識調査」を実施した。アンケートの有効回答数は、四七七一人。調査の際には、未成年者も選挙権があると仮定し、回答に入れた。今回選挙が行われることを知っていると答えた人は七割を超え、二年前の本調査と比べて大幅増となった。また、好きの分かれた「好きな政治家」では、田中眞紀子氏が一位となった。

選挙権を得てから今回の総選挙が初めての投票経験となる人が57・6％と半数以上を占めることが分かった。「総選挙が近いうちにあるのを知っている」「投票に行く」は二年前の調査に比べ20ポイント近く増加している。自由党から分裂し、党首を務める小沢一郎氏が現在所属している自由党から分裂し、前首相には入閣があったと政権に残った保守党を推す人も9・2％いた。

「実績と公約どちらを重視するか」では、実績を重視するという人が64・3％と、公約を重視する人の29・9％に比べて大幅に多かった。

「好きな政治家」は、一位に田中眞紀子氏6・6％、二位には4・7％で石原慎太郎氏と故小渕恵三氏が同率で並んでおり、メディアへの露出度の高さが影響しているという。石原慎太郎氏については、「はっきりものを言うところ」という意見が多く、故小渕恵三氏については、「人柄がよかった」との声が多く聞かれた。

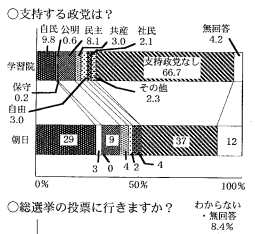
政治についての関心度を問う質問には、「大いにある」と「少しある」の二つの答えを合わせると七割を超えた。本学生の政治への関心の高さをうかがわせる。

またあなたにとっての選挙とは、では、「義務だと思う」を「自由な権利だと思う」が各々上回った。調査の結果を見ると、今回の総選挙に対する本学生の注目度は非常に高い。争点は出揃ったが、本学生にも右翼寄化を示する無党派層の動きが注目される。

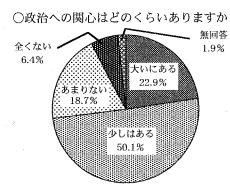
（野田高寛）

（二面に特集記事）

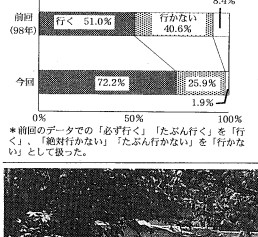
○支持する政党は？



○政治への関心はどのくらいありますか？



○総選挙の投票に行きますか？



＊前回のデータでの「必ず行く」「たぶん行く」を「行く」、「絶対行かない」「たぶん行かない」を「行かない」として扱った。

○好きな政治家は？（上位5人を掲載）

順位	氏名	人数
1	田中眞紀子	31
2	石原慎太郎	22
2	小渕恵三	22
4	小泉純一郎	15
4	田中角栄	15

初夏の緑に包まれて

めじおん

花が散り、新緑が目立ち始めた桜の木に囲まれたステージ。その上では、音楽系サークルの有志たちによって熱い演奏が繰り広げられる。この季節恒例の「めじおん」。彼らは演奏に様々なパフォーマンスを交えながら、観客を魅了する。今年もまた素晴らしい音色が学習院にこだまする。

（三面に関連記事）

黎明会館工事日程(抜粋)

工事箇所	工事期間
北階段	7月22日　～　8月13日
南階段	8月14日　～　9月6日
廊下他共用部	7月16日　～　7月21日
5階部分	7月21日　～　8月2日
4階部分	7月28日　～　8月8日
3階部分	8月3日　～　8月15日
2階部分	8月14日　～　8月28日
1階部分	8月9日　～　8月20日
B1階部分	8月25日　～　9月3日

黎明会館

夏に補修工事

富士見会館工事と共に完成

七月二十一日（金）から、黎明会館の補修工事が実施される。新部会室棟である富士見会館が九月中旬に使用開始される予定であり、今回工事はそれと合わせて黎明会館をリニューアルする形で行われる。

工事は外部工事（外壁、屋根、ベランダの補修）と内部工事（階段と各階の補修）に分かれていて、各階工事では廊下のみ改装が行われ、各団体の部室には立ち入らない。外部工事期間中は学生の通行に影響はないが、内部工事が実施される階の部室、共用部分の使用は禁止される。また、階段工事については工事中の階段は通行禁止となる。ただし、二つの階段のうちどちらかの階段が通行できるようになっている。また、工事の妨げになるなかで、各団体の荷物は撤去しなければならない。

黎明会館停電相次ぐ

施設部注意呼びかけ

五月二十五日以降、黎明会館の分電盤のブレーカー遮断の報告が相次いだ。原因は、五月中旬から暑い日が続き、クーラーなどの電気機器の使用が増加したための電気定格上の電気容量オーバーである。この原因が解消されない限り頻繁な停電が繰り返し発生することになってしまう。それ以外の本館内部の電気機器の使用も、電気容量オーバーの原因となる。

施設部は、「電気機器の使用を減らすなど、早急に対応をとって欲しい」と注意を呼びかけている。

素朴な疑問

空調あやつる黒幕は？

梅雨、蒸し暑い季節。こう暑くなると、教室にはきちんと空調が入ってます。勉強をしないと言い訳にはならないのでご注意を。

（HS）

始めに申し上げたのは、冷房を使用する期間は施設部によって定められていること。具体的には、三月十日から九月二十日までが冷房が稼働する期間だなどです。冷房の設定温度は二十八度。これはちょっと高めの設定温度は二十八度。でも最近世間では叫ばれている省エネの一環だと思えば納得。

でも、地球温暖化の影響なのか、最近では五月でも暑い日があります。ましたよね。そんな時、我々学生は蒸し暑い教室の中で授業を受けなければいけないの？

答えは、外の気温が三十八度を超えたら、外の気温が三十八度を超えたら、外の気温が三十八度を超えたら、教室にはきちんと空調が入ってます。勉強をしないと言い訳にはならないのでご注意を。

（HS）

明怒浮抗

断定を避けるあやふやな表現、いわゆる「ぼかし言葉」が十代や二十代の若者層を中心に広まっているという。一のほう「一とか」「的」などが例として挙げられていたが、普段聞くことも使うこともあるものを▼「調査を行なった」などと断定を避けて、責任を曖昧にする表現を使う人が多くなっている。「ぼかし言葉」が蔓延するのも、社会がそれを許容するからだ。

国勢レベルの総選挙としては2年ぶりとなる衆院選がいよいよ始まる。争点が定まり、立候補者の顔ぶれが出揃ったところで気になるのは投票率だ。近年、停滞気味だった投票率は、98年の参院選で盛り返し、今回も高い水準になると見られている。だがそれは社会一般の話。大学生をはじめとする若年有権者層は政治離れが進み、世代別の投票率では「20代は20%、30代は30%」と揶揄（やゆ）されるほど。ところが、ここにきて若者に投票を促す動きがあちこちで出てきた。それが今後、学生の政治観に影響を与える可能性もあるといわれている。

投票時間延長、ネット投票
幼少期からの社会への不安
今後、学生が選挙に行きだす理由

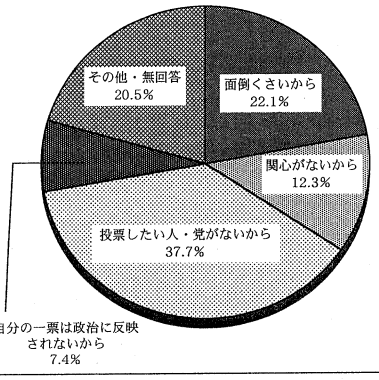
本紙アンケート調査結果によると、投票に「行く」と回答した人は、七割を超えた。国勢レベルの、それも衆議院の議員選挙だけあってこの数字は当然ともいえるが、一方で支持政党を持たない、いわゆる「無党派」は過半数を超え、七割に迫る勢いだ。その理由に「無党派でいい」を挙げた人は全体の一割だが、本学法学部長坂本孝治郎教授は、「積極的スタンスで支持政党を持たない人は、政党がどんな政策を打ち出しても目を向けない場合が多い」と分析する。

なかなか政治に目を向けようとしない学生、そうした若者層に対する基礎知識が必要だ。

森官相の「神の国」発言によって多世論調査でも内閣支持率は低迷している。この問題を投票の基準とする人は相当程度いることだろう。この問題も看過することはできないが、財政再建や農政問題があるのだから、これらの諸問題に対して自分の考えを整理し、自分の考えと一致、または限りなく近い政党に対して投票する、このような作業を行なって初めて「人間の有権者」と言えるのだ。そうでなければ、人気投票の色合が濃くなってしまう。最近、首相たちの言動が取り沙汰されているが、もしも有名タレント出身の立候補者の場合、その人気、知名度だけで首相に選ばれるという「危険」を常に意識しなければならなくなるだろう。

従って、何となく投票するのならば棄権した方が良い。その方が衆農政治に陥ることはない。無職、最良の方法は、前述の通り足を運ぶ前に基礎知識が必要だ。

○投票に行かない理由は？



○アンケート回答者数等データ

・有効回答総数　471

・回答者男女内訳

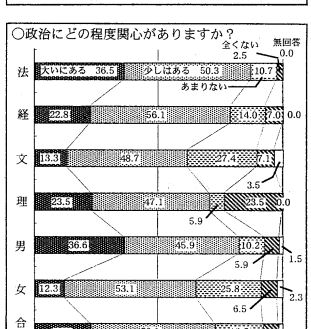
男	205
女	260
不明	6

・回答者学部別内訳

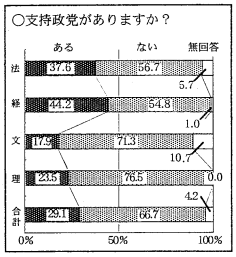
法	159	経	57
文	226	理	17

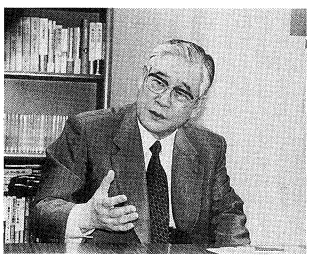
＊不明者11名、大学院生が1名。

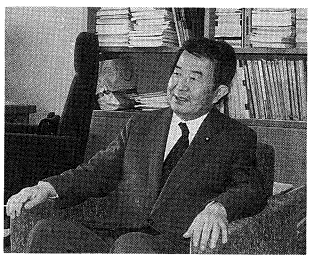
○政治にどの程度関心がありますか？



○支持政党がありますか？







▲森田実氏（森田総合研究所にて）＝写真上
笹川登生氏（解散直前の衆議院第2議員会館にて）＝写真下

本紙アンケートでは、「投票に行く」と答えた人の七割が「投票したい人・党がない」と回答している。

投票率向上に寄与したと言われる「期日前投票」は、投票当日の時間的拘束を解消し、投票率向上に寄与した在宅投票手続きの簡便化は、今回も継続される予定だ。加えて、航海中の船舶からファックスによって投票を行う洋上投票、国外の場合でも投票できる海外住所人向け投票の制度も実施される。将来的にはインターネットを利用し、投票所に行かずとも投票ができるいわゆるネット投票も実現する見通しだ。だが自由党の笹山登生（たつお）氏は、「いろいろな投票行動を公開して、学生のクールな分析力は若い比べても全く劣りしない」

特に十年前、日本経済が不況に陥ったいわゆるバブル崩壊に対して直面した世代は、社会に対する不安感、不信感はほかの世代と比べ高く、その意味で政治に対する関心も大変強いものがある。

森田氏は「大学での研究分野がほかの個々に細分化しすぎている」と話す。「音声情報は合法」という解釈が政府によって変えられた。そのため、国会では、HPを選挙意識の高まりの上を真っ白にして文字情報を流す。つまり、教員が自らの政府のゆがんだ解釈を変え、肉ぼっそ、揶揄する議員HPも出てきている。

本紙アンケートは学生全般の政治への無関心を顕在化させるだけでなく、学部ごとの違いも明らかにしている。概ね高い関心を示す法・経済学部の学生に比べ、文学部の学生は政治に関する知識が欠落しがちだ。結果として文学部の学生は「政治」にあまり関心を示さない。

例えば文学とは本来、「人間とは何か」が最大のテーマ。探求の過程で政治にも目を向けるようになるのは、必然だという。

ただ、現実はまこと皆が政治に傾倒していた昔を知る森田氏にとって、近年の学生は別の意味で自己を責める「お詫びと訂正」前号「インカレ教授」の記事において、長谷部恭男講師が担当している講義「憲法Ⅲ」は「憲法Ⅱ」の誤りでした。関係者の方々に深くお詫びし、訂正いたします。

◇　◇　◇

ものがあると感じる。「確かにいまの大半の学生にはかつてのような政治に対する野心はない。だが（授業時間中）眠りこけた。関係者の方々に行なった」学習院の学生に深くお詫びし、訂正いたの課題レポートを読む限り、学生のクールな分析力は若い比べても全く劣りしない。

取材班は姫神一恵、畠中悠嶺、高橋充、野田高寛、宮沢輔、横成

記者の眼

そうだ、選挙へ行こう

衆議院が二日に解散され、二十五日の総選挙に向けて選挙戦がこれから激さを増していくことになる。今回の選挙結果が二十一世紀の日本の行方を左右するといっても過言ではない。それだけ重要な選挙と言えるだろう。

大学生の多くは在学中に選挙権を取得する。今回の総選挙で初めて選挙できるという人も多いだろう。年代別投票率では、二〇代前半の投票率が比較的高い。これは初めて選挙権を持ったことで投票に行ってみようという入が多いためである。今回の選挙に行こうと思っている人も多いだろう。

では、選挙へ行く際に何を基準とするだろうか。各党・各候補者の政策やこれまでの業績、公約、または組織、血縁、イメージなど判断材料は色々ある。しかし、果たして自分の住んでいる選挙区の候補者を何人知っているだろうか。衆議院に議席を持つ政党をいくつ言えるだろうか。投票所へ行くべきだ。それが自分の身の回りの生活はおろか、この国をも変える原動力となるのだ。「自分の一票で政治が変わる」という幻想ともいえるこの言葉を信じて。

（政治学科三年　清里武志）

学内セクハラ規定の平等性

昨年四月の改正男女雇用機会均等法の施行と、人事院規則の改正により、全国の各大学において「セクシュアル・ハラスメント（以下セクハラ）」に関する相談受付、規則づくりが各大学に求められることとなった。本学でも、今年四月一日より、学内におけるセクハラの防止に関する基本方針や規定が制定された。

大学におけるセクハラ事例（例えばセクハラと呼ばれる以上、一般的な事例（例えば企業で行われているもの）と同質の性質を持ち合わせているはずだ。しかし）一般的事例よりも著しくその傾向が顕れたのは、大学という組織の特殊性によるところが大きい。それは例えば、大学教員の行使できる社会的権威の大きさ、大学という組織固有の「自治」の反面としての外部監督の排除などで、これらが被害者救済を極めて困難にしていた背景にあろう。

そして現在、本学にお救済措置が採られたわけだが、その内容を見ると、セクハラの基本的見解から加害者・被害者のプライバシー保護まで、細かな配慮がなされている。ただ受け身で制定したのではない、セクハラ防止に対する積極的な姿勢がうかがえる。しかし、相談員が各学部より選出された教員や学生部職員など、やはり大学内部での人間によって構成されている。大学だが、残念ながら現実的ではない。人間は合理的であるから、「投票」という行動にそこまで力を入れることはないのだ。だが、一人一人が投票に何となく行くのではなく、しっかりとした目的意識を持って

森官相の「発言」

森官相の「神の国」発言によって多世論調査でも内閣支持率は低迷している。この問題を投票の基準とする人は相当程度いることだろう。この問題も看過することはできないが、財政再建や農政問題があるのだから、これらの諸問題に対して自分の考えを整理し、自分の考えと一致、または限りなく近い政党に対して投票する、このような作業を行なって初めて「人間の有権者」と言えるのだ。そうでなければ、人気投票の色合が濃くなってしまう。最近、首相たちの言動が取り沙汰されているが、もしも有名タレント出身の立候補者の場合、その人気、知名度だけで首相に選ばれるという「危険」を常に意識しなければならなくなるだろう。

従って、何となく投票するのならば棄権した方が良い。その方が衆農政治に陥ることはない。無職、最良の方法は、前述の通り

幼少期からの社会への不安

二年前の参院選で実施された「期日前投票」は、投票当日の時間的拘束を解消し、投票率向上に寄与した在宅投票手続きの簡便化は、今回も継続される予定だ。加えて、航海中の船舶からファックスによって投票を行う洋上投票、国外の場合でも投票できる海外住所人向け投票の制度も実施される。将来的にはインターネットを利用し、投票所に行かずとも投票ができるいわゆるネット投票も実現する見通しだ。だが自由党の笹山登生（たつお）氏は、「いろいろな投票行動を公開して、学生のクールな分析力は若い比べても全く劣りしない」と解説する。

ホームページ（以下HP）を政党・議員の政策主張の場として活用する試みはすでに始まっている。前の笹山氏もその一人。同氏は三年前から私設HPを利用している。「新聞・テレビなど報道面も目在にできる」

こうして政策公表を目的としたHPは実用段階にあるが公職選挙法の規制によるものだ。だが、政策公表の機会が少ない。HPなら政策発言も情報面で、「不明確な法解釈」により、ネット上の選挙活動は事実上黙認されている状態」（笹山氏）だ。

一方で、公選法は電話で表と選挙活動の境界線は曖昧である場合が多い。

昨年度まで本学で講義をした奥谷

PHPが公選法の禁止している選挙期間中ひとりなる文書図面の頒布と同一視されているためだ。だが、政策公表と選挙活動の境界線は曖昧である場合が多い。

●質問と回答

数字は%。小数点第2位以下を四捨五入した。合計して100%にならない場合がある

◆あなたは現在選挙権を持っていますか？

もっている	37.6
もっていない	62.0
無回答	0.4

◆上の質問で「持っている」と答えた方だけお聞きします。選挙権を得てから今までに選挙（地方選を含む）を経験したこと（実際に投票しなかった場合を含む）があります か？

ある	31.6
ない	57.6
無回答	10.7

◆あなたは6月25日に衆議院総選挙が実施されることを知っていますか？

知っている	73.9
知らない	19.5
無回答	6.6

◆6月25日の衆議院総選挙にあなたは投票（不在者票を含む）しますか？

する	72.2
しない	25.9
無回答	1.9

◆上の質問で「いいえ」と答えた方だけにお聞きします。選挙に行かない理由は何ですか？

投票が面倒くさいから	22.1
政治に関心がないから	12.3
投票しようと思う人・政党がないから	37.7
自分の1票は政治に反映されないから	7.4
その他・無回答	20.5

◆あなたの支持政党はどこですか？

自民党	9.8
公明党	0.6
民主党	8.1
保守党	0.2
自由党	3.0
共産党	3.0
社民党	2.1
その他	2.3
無支持	66.7
無回答	4.2

◆「無支持」と答えた方だけにお聞きします。支持政党がない理由は何ですか？

どの党も信用できないから	26.1
どの党も政策がよくないから	5.4
どの党も実行力がないから	13.1
無党派でいたいから	9.9
政治に関心がないから	22.6
その他・無回答	22.9

◆あなたは、政治にどの程度関心がありますか？

大いに関心がある	22.9
少しは関心がある	50.1
あまり関心はない	18.7
全く関心はない	6.4
無回答	1.9

◆あなたは選挙で政治家や政党に投票する際、過去の「公約」と未来への「実績」のどちらを重視しますか？

実績	64.3
公約	29.9
無回答	5.7

◆あなたにとって「選挙」とは何ですか？

義務	39.5
公約	44.4
その他・無回答	16.1

◆あなたの好きな政治家をを1人あげてください。（現職でなくても構いません／1.0%以上を掲載）

田中真紀子	6.6
小渕恵三	4.7
石原慎太郎	4.7
小泉純一郎	3.2
田中角栄	3.2
小沢一郎	2.3
菅直人	2.1
高橋是清	1.9
土井たか子	1.5
吉田茂	1.1

情報特急便

春の献血実施される

五月十六日（火）、軸に会館前で献血が行われ、今回は七〇名の学生が献血に参加した。

ここ最近の本学での参加率の状況について東京都北多摩センターの小町憲さんは「他の大学と比べると一番応が鈍く、学生が上がるにとの献血への関心が薄れていく傾向にある。今回は本実見込んだ参加者数の三分の一だった」と語り、最近の献血離れの傾向が本学においても顕著に現れていることを示唆した。

また小町さんは「この活動は社会活動の一環として行なっているため、学生の皆さんのボランティア精神に訴えかけていくしかない。体力に自信のある皆さんにもっと参加していただければ、もっと多くの血液を採血できるのではないかと」語った。次回は十一月頃を予定している。

献血についてのご詳しい問い合わせは、東京都北赤十字センター（〇三―三九四〇―五六一一）まで。

情報コーナー

「学習院大学五十年史上巻」刊行される

昨年の写真集に続き、通史「学習院大学五十年史上巻」が刊行された。

上巻では昭和三八年までを配述の対象とし、京都学習院や旧制学習院の時代を含め、戦後学習院の出発から新制学習院大学の再興と成長を描いている。

定価は三五〇〇円。成文堂（西五号館一階）にて取り扱っており、郵送も行なっている。〈送料税込〉は成文堂（〇三―三九八一―九七一八）まで。

史料館第二〇回特別展「酒が織りなす情景」

○会期　六月十五日（木）―七月十五日（土）

○会場　史料館展示室

○開館

・平日　午前十時―午後四時半

・土曜　午前十時―正午

会期中の六月十九日（月）には午後六時半から記念講演が開催される。

いまここに文化の春

めじおん2000開催

めじおんの現状

展示会になるとどこから部員会、中南米研究会、スカイサウンズ・ジャズ・オーケストラ、音楽部七音楽祭（通称めじおん）が、フライングハウス、世界民俗研究会、ジャパンスタディーズ・ソサイティ設置などの準備が始まる。今年は第二十七回目を迎える。

めじおんは孤立していた音楽系サークルの結束を強めるとともに、雅祭成果を他の学生に目指して、参加団体は軽音楽部、音楽愛好会、アピールするために一七七三年に始まる。現在は学生と触れあい、新歓期間後初めての発表を行うのが主な目的。そのため演奏するのは一年生中心である。

自由音楽祭実行委員会は三月に発足し、期間の決定や、会場の確保から足を運ぶ。また、ここでは展示での展開に参加した事前に近隣住民へ挨拶に行き、地域の掲示板に開催の告知をし、理解を得られるよう懸命に努力をした。

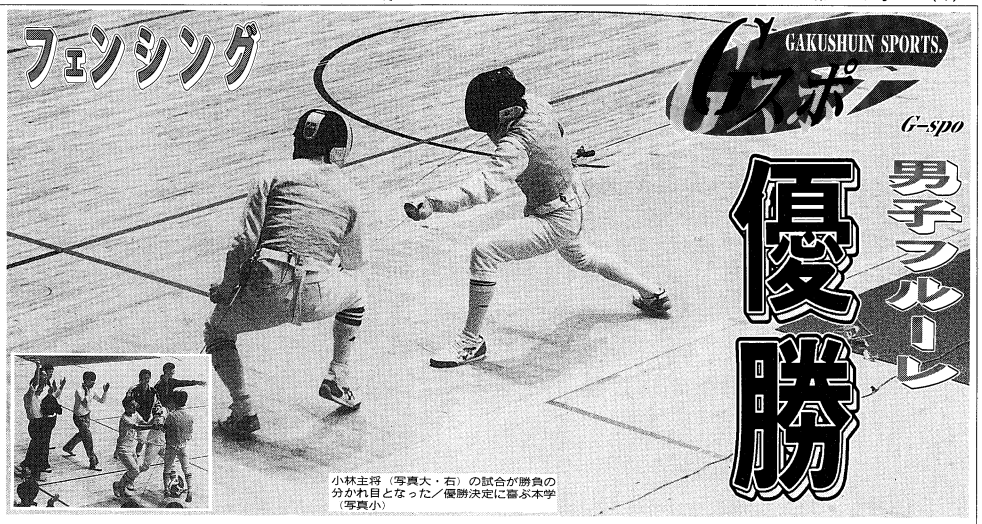
今年のめじおんについて自由音楽祭実行委員会の加藤義徳さんに伺った。「今年は天候に恵まれ、事故もなく順調に進んでいたが、他サークルとも交流ができてよかったと思います。ライブでは一年生の一人がピアノでは、残り時間のわずかにもかかわらず観客の一部が舞台周辺に集まり、かなりの盛り上がりを見せていました。来年は現在建設中の新部会室棟内で開催してほしいかという提案がある。これに対しての意見もあり、最終決定は来年になりそうだ。

今年のめじおんについて自由音楽祭実行委員会の巻き込みつけた。続いて、次の出演者は、「ROCK YOU!」を二曲目の演奏。「DON'T CARE ABOUT YOU（fuck you!）」を二曲目の演奏。「Rock is dead」をフィアーズ・のリンマンソンの「Rock is dead」をフィアーズ・のリンマンソンの「Rock is dead」をフィアーズ・のリンマンソンの

フェンシング

男子フルーレ 優勝

GAKUSHUIN SPORTS. G-spo



小林主将（写真大・右）の試合が勝負の分かれ目となった／優勝決定に喜ぶ本学（写真小）

関東3部に所属する、本学フェンシング部男子フルーレ部門。春季リーグ最終戦で東経大を破り、見事、全勝優勝を飾った。この結果をもたらしたのは、まぎれもない「勝利への熱き想い」だった。この想いを胸に、2部復帰を賭けて入れ替え戦に臨む。

フェンシング春季リーグにて第三戦まで全勝と好調さを見せる本学男子フルーレ部門（関東3部）。五月十六日、駒沢公園体育館での東経大戦に臨んだ。

「試合目、土屋和吉選手（営四）は落ち着いた試合運びで本学をリードする。しかし、続く小林竜産主将（政四）は動きに精彩を欠き、8－10と逆転を許す。細川幸一選手（政三）も敗れ、12－15として迎え優勝がかけ、最終戦、強豪の東経大